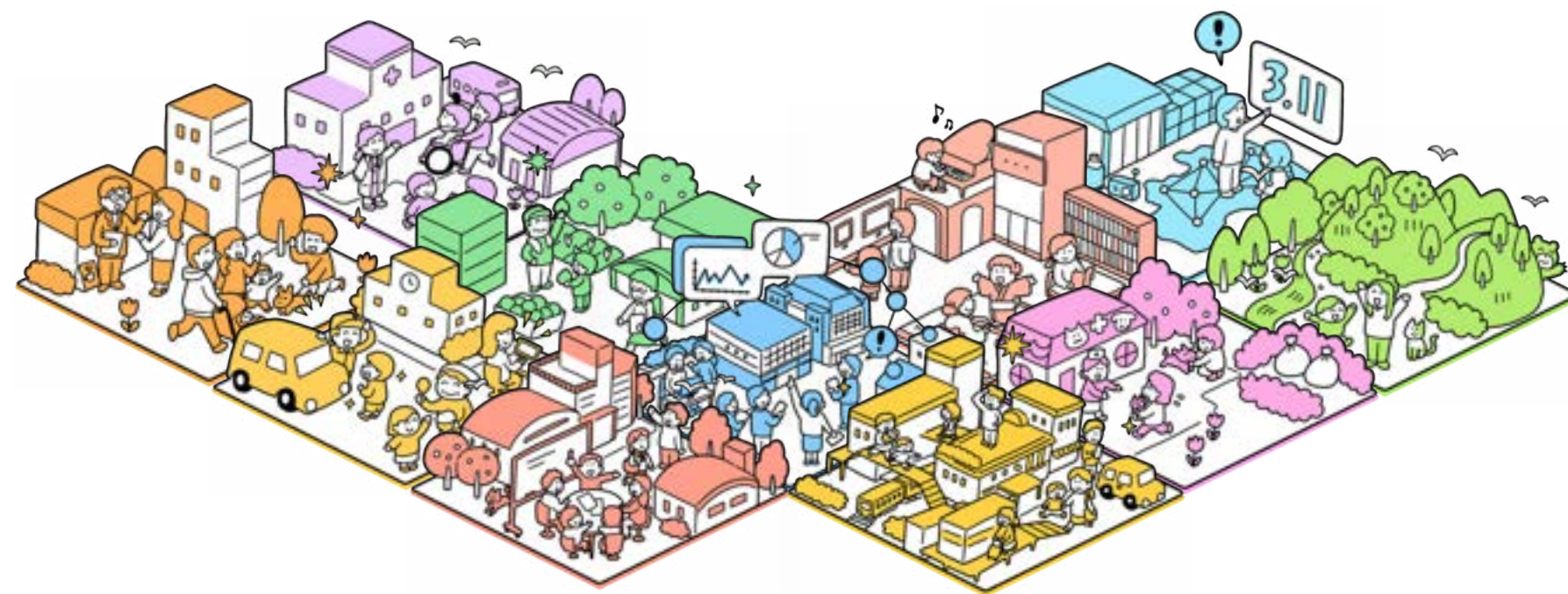


まちづくり基本ビジョン

ともに前へ

- 安心と挑戦の福島市 -



4年後を待てるはずがない

圧倒的危機感

福島市の現状

①人口の変化

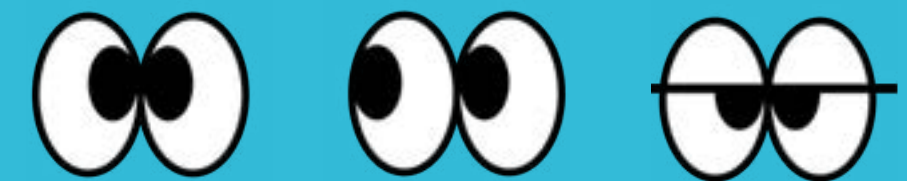
8年の人口推移（率）
福島市/郡山市/仙台市
2018→2025



②財政の変化



③まなざしの変化



私自身が火種となって
一人ひとりの思いに火が付き、
みんなが等身大で挑戦できる
県都福島市に。

未来の「福島のあるべき姿」を、 みんなで考え、みんなとつくる。



衆議院議員を辞めて1か月半。

2,000人を超える方々にお話を聞きました。



福島市のあるべき姿を考えるため、対話集会、オンライン、まちかど調査など、約2,000人の方々に「未来の福島の姿」についてご要望やご意見をお聞きしました。不安や悩みを共有する時間を持ててよかった、というお言葉に胸が苦しくなりました。嘆きは望みに、怒りは願いに変えていくのが政治家の役目です。

ともに前へ。

新たな1ページをつくる挑戦を、一緒にはじめませんか。



まちづくり基本ビジョン

福島市のビジョン

次世代
文教都市

文化・教育・人づくりから始まる豊かな経済都市

次世代文教都市とは

「すべての子どもたちを笑顔にすることができれば、
まちのみんなが笑顔になる。」ことを基盤とし、
子どもも大人も生涯にわたって探求し、創造する新しいまちの形。



- ①徹底した「**安心社会**」を構築し、自然体で人が住まい、集える環境を築き、子ども、若者、大人、シニアが世代をこえてつながり、時に学び、時に教え合う環境をつくります。
- ②歴史・創造・芸術・技術など人の力が最大限引き出され、「**挑戦の文化**」が根付き、経済を起こします。
- ③生み出した財源で、**市民サービス**を向上させます。

最優先事項

福島市が行うべき

最優先
事項

3



福島市が行うべき3つの最優先事項

01. データ行政の確立



02. 成功体験づくり

03. 駅東口再開発の再整理

01

データ行政の確立

なぜデータ行政が重要なのかを説明します



馬場ゆうきの心の声

福島市の実態が
つかめない

データ行政が進まないとなくなるのか？

- ① 政策決定・行政運営の効率低下
- ② 市民サービスの質の低下
- ③ 透明性・説明責任の欠如
- ④ 経済・地域活性化への悪影響
- ⑤ 福島市の魅力や競争力の低下

行政の実績と市民感情の乖離＝もやもや
かいり

情報公開

データブックで福島市を見える化

- 誰が見ても**一目瞭然**となる数字の可視化
- 一点ではなく**過去の推移**が分かる
- 他市との**比較**が分かる

02

成功体験づくり

自分の力で社会が変わると信じられるように



夢や憧れと出会い、まっすぐにトライでき、
失敗をも許容された安心の空間設計。

- あるもの最大生かしのまちづくり びっくりポイント！探し
- 学生と大人の結節点
- やってみる実践の空間

→自分の力で社会を変えられると信じる

各地域

学習センター・支所の強化

自分の言葉で社会が変わるんだ！
いくつであっても今が旬！と思える社会

- 生涯学習、社会教育、シチズンシップ教育
- 福島版チャレキッズ
- 月1回の各地域で行う対話集会

各産業

未来戦略本部の設置

声を徹底的に聴く、現場にこそ答えがある
ともに悩み、ともに考え、ともに乗り越えていく社会

- 各産業や現場を代表する方と月1回の意見交換
- 年齢・性別分け隔てなく
- 県や国、周辺自治体や類似自治体との連携強化

データ行政



成功体験づくり

数字と市民感情を掛け合わせた
ハイブリット市役所の実現

→ 市民目線の大改革

03

駅前東口再開発の再整理

いったん立ち止まって磨き直し



東口再開発再整理

2020年8月31日
中合福島店
が閉店

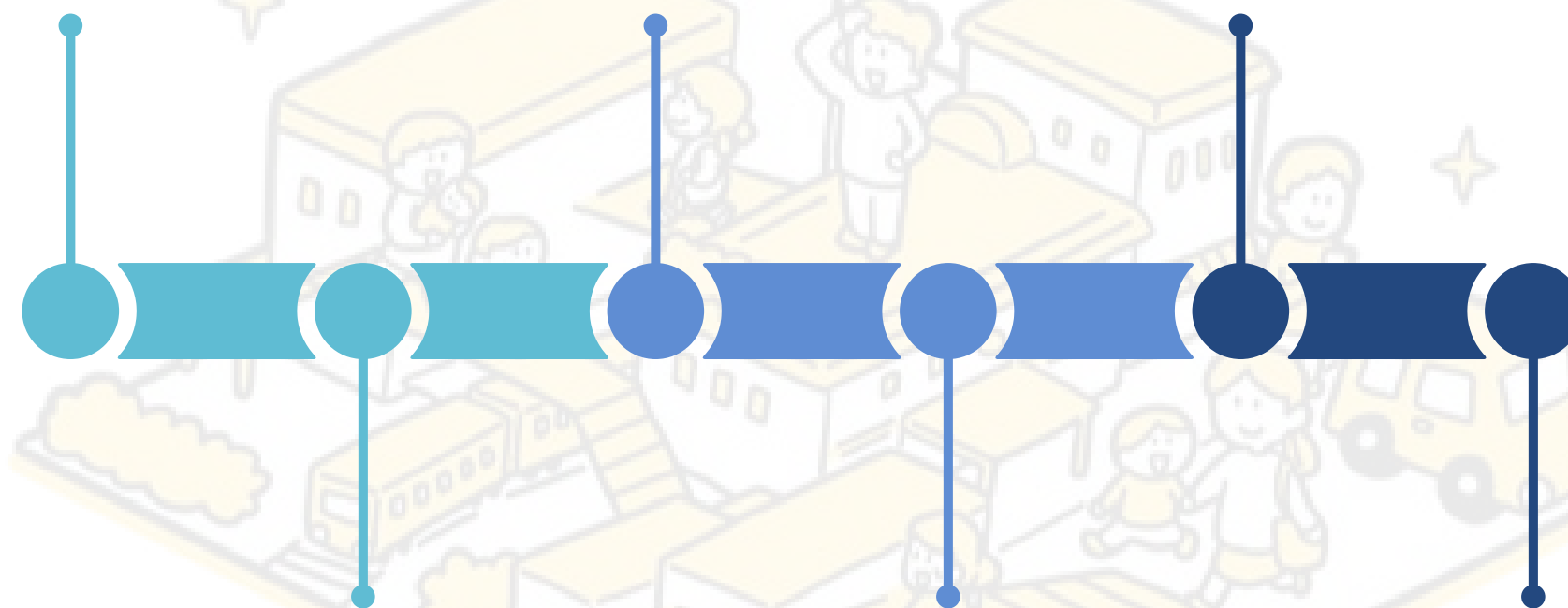
2022年6月14日
中合跡地含む
約2haの整備報道

2024年5月
イトーヨーカドー
福島店閉店

2022年
東口再開発
見直し方針が出される

2023年10月～
解体工事が
見えるように

2025年7月
再開発が
2029年度に延期



計画の全体最適化 前提が変化している

東口だけではなく駅周辺の価値を

- 他に改修が検討されている既存施設の重複を再整理
- 東西を一体的にとらえた回遊性を意識した計画策定
- 県都の顔とした県と市が連動したプロジェクトの推進
- 都市再生関連予算等の最大活用

→人の動線を徹底して意識し、日常があり、
27万人都市に見合う経済が起きるまちづくり

関係者間の信頼回復

産官学・子ども・シニア共創体制の確立

- 公共部分は誰が利用するのか、ターゲットを明確にする
- 協議体を実行フェーズに移行
- 透明性を保ちながらスピードアップ

早期完成

完成をゴールにせず活用をスタートに

- 優先整備エリアを設定し、段階整備方式の導入
- 暫定利用の推進
- 運営における民間活力（PFI）等の導入

8つの基本方針

福島市が行うべき

8つの
基本方針

福島市が行うべき8つの基本方針

安心できる
医療と福祉

子育て支援と
働く環境支援

古きを訪ねて新
しきを生み出す

教訓を未来と国
力につなぐ防災

誇れる豊かな自
然環境の再起

夢を広げる教育と
挑戦の環境

福島の恵みを
地域の力に

市民目線の課題
抽出から解決



①先輩世代

安心できる医療と福祉

- 地域医療の連携強化
- 移動の自由の確保
(シルバーパスポートなどの拡充)
- 医療従事者の負担軽減
- ヤングケアラー支援



②現役世代

子育て支援と働く環境支援

- ママパパの孤独対策
- 誰もが尊重される社会
- スタートアップ支援
- 地域内経済循環の強化



③未来世代

夢を広げる教育と挑戦の環境

- 居場所支援（子ども食堂、放課後、遊び場など）
- 学びを止めない不登校支援
- AI、ICT教育の深化
- 小中学校給食費無償化※2026年4月以降



④地域資源と経済

福島の恵みを地域の力に

—食・農・林・観光・技術—

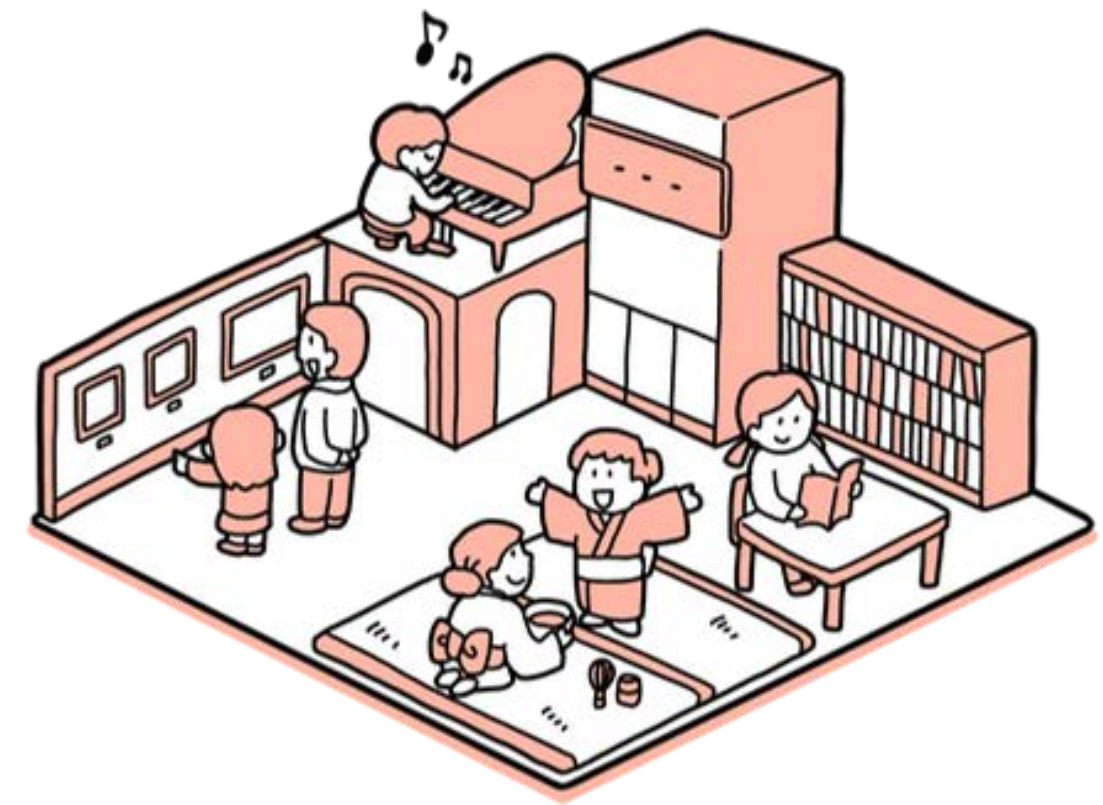
- 一次産業・食の再生
- 観光・地域経済の活性化



⑤歴史文化

古きを訪ねて新しきを生み出す

- 歴史の継承支援
- 文化と芸術の共創



⑥防災

教訓を未来と国力につなぐ防災

- 避難所運営体制強化・備蓄の最適化
- 3.11の教訓を生かした
福島版防災教育構想



⑦ 身近な課題

市民目線の課題抽出から解決

- ゴミ：集積場の整備推進
- ペット：夜間動物医療
体制の整備



⑧ 自然環境

誇れる豊かな自然環境の再起

● 自然破壊を伴うメガソーラー開発の制限と

法改正への取り組み

● クマ対策（被害防止／里山管理と
情報共有／対応訓練）



な な
為すべきを為す

ビジョン 次世代文教都市

最優先事項

- ① データ行政
- ② 成功体験づくり
- ③ 駅東口再開発の再整理

8つ基本方針

- 安心できる医療と福祉
- 子育て支援と働く環境
- 夢を広げる教育と挑戦の環境
- 福島恵みを地域の力に
- 古きを訪ねて新しきを生み出す
- 教訓を未来と国力につなぐ防災
- 市民目線の課題抽出から解決
- 誇れる豊かな自然環境の再起

嘆きは決意に、
不安は一步に、
混沌は希望に。

必ず変える、必ず変わる。

未来は、
今の選択がつくる

と も に 前 へ